

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	アソビシロ
役職	
氏名	田尻泰崇
着任日	令和6年6月1日

活動月	令和7年9月（着任16ヶ月）
主な活動	1. オンラインテーマ別説明会 2. インターン研修 3. 協力隊報告会

1.オンラインテーマ別説明会

9月3日、川辺高校にて、25日に薩南工業高校にて地域みらい留学のテーマ別説明会がオンラインで開催されました。今年度の追加開催以外でのオンライン説明会は最終となります。

川辺高校のテーマは「特徴のある部活動」で薩南工業高校は「卒業後の進路について」という内容で説明を行いました。どちらの説明会も約10名ほどの中学生の参加がありました。

川辺高校に関しては、なぎなた部や書道部を中心に県大会やインターンで良い結果を出しているところから、部活動が地域イベントへ参加して地域交流へ貢献していることまで説明を展開していきました。

薩南工業高校に関しては、卒業後にどのような会社に就職が決まっているのか、目標に向けてどのような指導が受けられるのかという内容で展開がされました。

どちらの説明会でも興味深い高校が存在して、ここだったら行ってみたいなと思える場所が数箇所ありました。なぜそのように思ったのか考察したところ、一目で見て情報が入ってきやすい資料の作り方、そもそもの魅力的なプログラムの内容【地域、学校、市役所の連携が理想的にとれている点】などがありました。ここから得た情報は今後の資料作りに生かしていきます。

そして、テーマ別説明会では参加者が選択したテーマを中心に聞きに来ているので、テーマからそれた話題を提供しすぎると的確な情報提供をしてもらえないというイメージを持たれてしまいます。学校サイドの伝えたい情報と参加者の求めている情報のバランスを考えながら内容の調整をすることが重要なので、テーマ毎に資料の変更や説明内容の選定が必要となってくるのです。このバランス調整は次期の説明会でも余すことなく行います。

このように説明会に参加する度に新しい発見や次に発展させるようなポイントが見えてくるので、この経験を大切に、魅力溢れる説明へと向上させていきます。

2.インターン研修

9月12日、知覧市役所にて、鹿児島大学の学生たちが「空き家の有効活用」に関するインターン研修の発表を行いました。これは鹿児島大学の学生が実際に2週間知覧に宿泊して、空き家物件をどのように有効活用すれば良いか提案する内容になっています。

私は、その取材の一貫として、シェアハウスのシステムをどのように話し合いをしてきたのか鹿大生たちに説明を行いました。地域みらい留学における住居設定に関しては昨年の協力隊活動が始まってから継続的に向き合ってきた内容で、振り返りながら説明行いつつ、次から次へと見えてきた課題を一つずつクリアしていくことの重要性を改めて理解した時間となりました。現状は考えられるパターンや可能性を最大限に炙り出して対策を考える段階ですが、実際に運用した時に新たな課題が出てきても冷静に対処できるように準備しています。鹿大生たちは他の場所から来ているからこそその視点で意見がなされており、入学希望者が何を望んで南九州市にくるのかという考えに繋がる非常に有意義な研究発表の時間となりました。

3. 協力隊報告会

9月29日に颯娃の潮やにて、お試し協力隊研修の一貫で現協力隊員の報告会に参加してきました。

ここではなぜ南九州市の協力隊に就任したのか、始まってから現状までどのような活動を行ってきたかを報告しました。

0から1を作らなければならないので、他の地域の事例やパターンの分析と並行して自分の地域の方々との交流を通して協力して下さる方々とのコミュニケーションを行うところから始まりました。

就任して2ヶ月で大阪で行われた対面説明会イベントに参加して、他の高校の実際の声を聞いて、理想的な環境に近づけていくかブラッシュアップしてきました。

環境を整えると言う部分では受け入れが可能であるところまで持って来れたのはたくさんの協力者のおかげさまです。改めて感謝を伝えたいです。9月で地域みらい留学の事務局が用意している正式な募集活動は停止しますが、オンラインでのサポートは引き続き行いますし、同時に近隣への宣伝広報を行って、高校の魅力をどんどん拡大していきたいと考えています。現状では地域の方々と話し合いをして、川辺高校の魅力を引き出せるイベントは何かを思案し、入学希望者たちに情報を提供できるか資料を改訂している段階になります。

中学生向け、保護者向けのように説明する人に合わせた最大限に魅力を伝えられるものを作っていきたいと思います。



視察する鹿大生たち



報告会の様子